

vol. 2266

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL/(097)556-2838 FAX/(097)556-8998 MAIL/ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 高教組フェスタ 11月28日 (日)
- 第24回 高教組ボウリング大会 12月11日 (土) OBSボウル
- 第11回 日教組九州地区協議会臨時採用教職員等交流集会 11月20日 (土)
- 第5回 臨時・非常勤教職員等全国交流集会 11月23日 (火)

高教組フェスタ

とき 11月28日 (日)
ところ 大分県教育会館

11月28日 (日)に、教育会館で「2021年度高教組フェスタ」を開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年より規模を縮小しました。

実行委員長の天草竹祐さん(中津東分会)、副実行委員長の足達明広さん(障害児学校部)、中川由紀子さん(高田分会)、犬塚哲也さん(臼杵分会)を中心に、実行委員で計画・運営を行いました。

当日は、未組織者を含め36名の参加がありました。

半日間の開催ではありましたが、充実した時間となりました。



第1分科会

東京新聞記者・望月衣塑子さんの同名の著作を原案にした映画『新聞記者』を鑑賞しました。

政治の闇、権力、情報操作などなど、まさに現在の日本が描かれていたのと同時に、私たちはどう考え行動すべきかを考えさせられた作品でした。

鑑賞後は、一人ひとりが感想を出し合い、思いを共有することができました。

天草竹祐 実行委員長挨拶



<参加者の感想>

○作品を見ている途中からモリカケ問題がだぶってきた。何度浮上してもなかったかのようにさせられ、追求されずに、問題がうやむやになってしまっている。それなのに、国会でその件に関して追求し続ける議員も報道機関もない。

正義とは何なのだろうと改めて考えさせられました。

小さなことですが、学校現場にもおかしく思うことが沢山あって、声を出さないままおかしな現状がまかり通っていきます。思考停止しているのだろうと思うばかりです。

- 現実にあった問題を反映させた内容で、とても考えさせられました。私たちは報道されたことからしか知り得ないので、その裏で何が行われているか、どのような流れになっているのか、考えながら受け取る必要があると思いました。
- 映画『新聞記者』を見て、これまで安倍政権下での公文書偽装事件で自死とされた赤木さんのことなど重ねられていた。映画の中だけのフィクションの話ではないことが改めて認識された。安倍のせいで、時の政権、上司へのおもねりから、自死に追い込まれ、またその他にも苦しみながらそのねつ造に関わってきた人もいるだろうと考えると、本当に腹立だしい。
- 何が正しく、何が間違っているのかという情報の取捨選択は難しく、得る方も提供する側も重大な責任があると感じました。

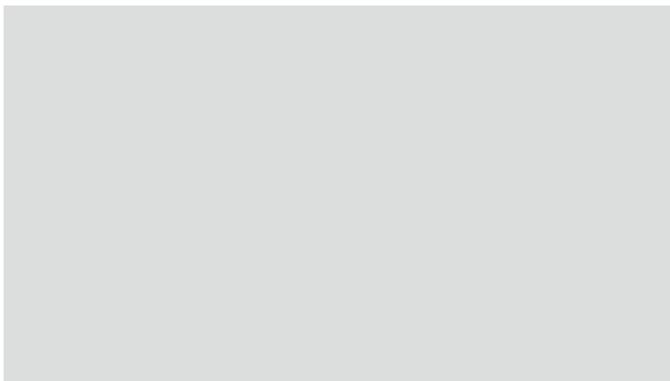
決断することで得るもの、失うものがある、そのなかで命を失うというのは本当に心が痛かったです。

立場になって考えるのは大切だけれど、組織にのまれてしまうというケースはどの現場でもあると思いました。仲間（味方）を多く作るのも大切だと思いました。

第2分科会

第2分科会は、権利や休暇について学習しました。

高教組本部の牧副執行委員長が、「休暇ハンドブック」をもとに、あまり周知されていない休暇や権利について説明をし、理解を深めました。



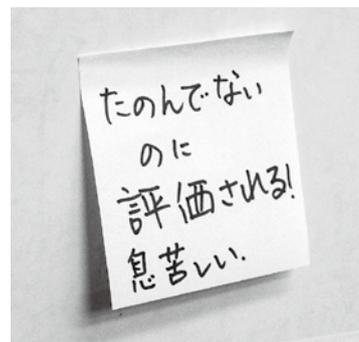
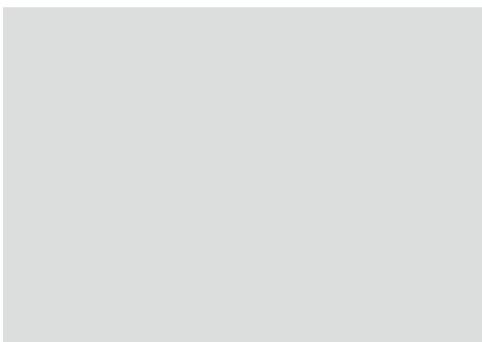
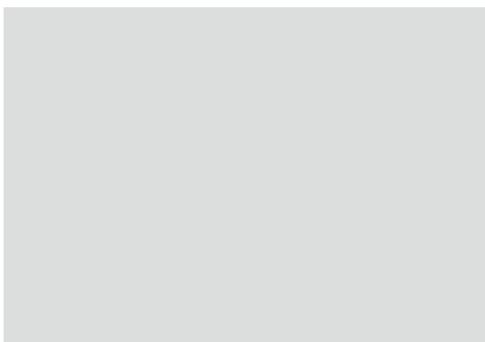
<参加者の感想>

- 休暇や権利について、たくさんを知ることができました。たくさんメモをしたので、周りの人にも共有していきたいと思います。
- このような機会がないと、休暇制度のことを詳しく知ることはできなかったと思います。面倒だから年休で…ではなく、とれる休暇はきちんと申請すべきだと感じました。
- 勉強になりました。来ないと、足を運ばないと分からないことがたくさんありました。参加して良かったです。

第3分科会

第3分科会は、日々の業務の困りや悩みについて出し合いました。

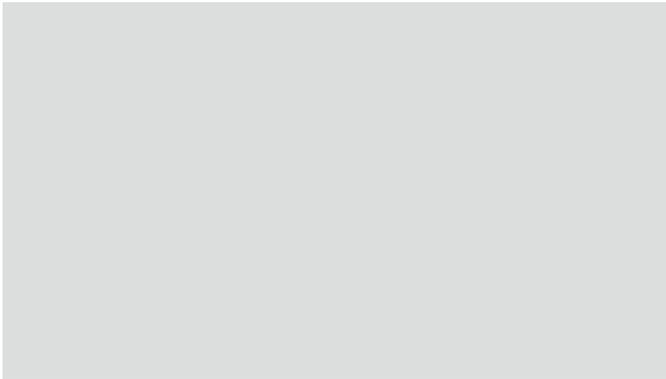
他校の様子を知ったり、課題を出し合ったりして、集まって話すことの大切さを再確認することができました。少人数ではありましたが、時間いっぱい話をすることができました。



<参加者の感想>

- いろいろな年代、学校の先生方とお話できて貴重な時間になりました。働き方改革やICTの導入など、学校現場のさまざまな問題を聞くことができ、自分の気付いていなかった問題にも気付くことができました。また、業務の中で喜びを感じる時についても話し合うことができたので良かったです。
- 顔を突き合わせて話をする必要性を痛感しました。
さまざまな教科・役職の方々と話することで、視点を得ることができます。初参加の方や若い方々の力になれたらとても嬉しいですが、そのためには若い方々、一人職種の方々の話を聞かなければはじまらないと思います。実施できて本当に良かったです。
- コロナ禍の中で、今年度も語り合う場に参加出来てよかったですと思います。語り合うことで悩みの解決や気持ちが楽になることにつながるのを、今年度も実感できました。職場でも語り合うことができるように、環境作りをしていきたいと思っています。

また、抽選会も行いました。



実行委員3人で小吉・中吉・大吉



賞品を選びます。迷います。

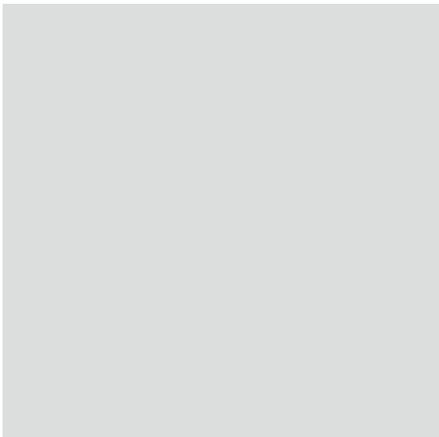
参加者からは、「制限がありながらも集まれることに意義を感じ、うれしく思う。」「貴重な経験になった。」

「タバコ部屋のような雑談会議が、頻繁にできるように心がけたい。」「早く交流会ができるようになると良い。」といった声が聞かれました。

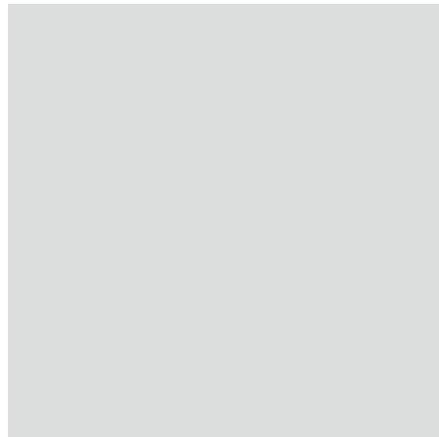
実行委員のみなさん、参加者のみなさん、ありがとうございました。

第24回 高教組ボウリング大会 (12月11日(土) 15:00～ OBSボウル)

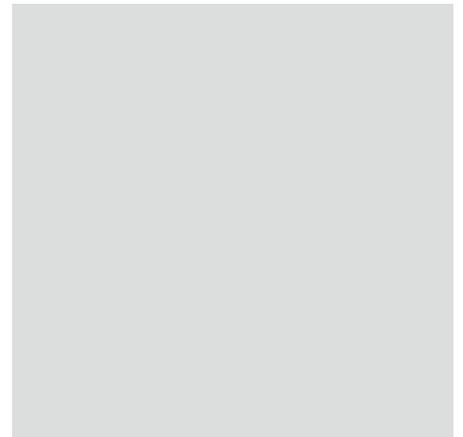
今年のボウリング大会には組合員はもとより、未組織の方などを含め合計27人での開催となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、昨年に引き続き体育大会が実施できなかったこともあり、普段以上に日頃の運動不足解消やストレス発散をする姿が見られ、また和やかで楽しい時間を過ごすことができました。



ハイゲーム賞
安部 千恵美さん(大分東分会)



個人優勝
麻生 真美さん(佐伯豊南分会)



団体優勝
「大分東ER」

第11回 日教組九州地区協議会臨時採用教職員等交流集会

11月20日（土）に、日教組九州地区協議会臨時採用教職員等交流集会がWebで開催されました。大分高教組からは、9月から加入した真村典元さん（佐伯豊南分会）と、仁木書記次長が参加しました。

開会行事では、日教組特別中央執行委員で、第26回参議院議員選挙日政連予定候補者の古賀ちかげさんが、「現場には未来を変える力がある ～臨採の声を国会に～」と題し、福岡県教組臨採部の立ち上げに大きく関わったことや、臨時・非常勤教職員の待遇改善に向けて、これからもとりくみをすすめていくことなどについて、講演を行いました。

その後、各分科会に分かれて、各単組のとりくみや職場での実態について協議を行いました。

新しい臨時・非常勤制度が始まり、以前と比較すると改善された部分もありますが、休暇をはじめ多くの課題が残っています。引き続き、改善にむけてとりくみをすすめます。

参加者の感想 講演では、分散登校の時に不登校や支援学級の生徒がクラスに入ることができたという話には驚きました。タブレットが生徒一人ひとりに配られたことによって便利になった面もあると思いますが、休み時間にタブレットをずっと扱っている生徒も見られるので、問題も多いと感じています。子どもたち同士をつなぐ使い方というのを考えようと思いました。

分散会では、他県のいろいろな実態や情報を聞くことができ勉強になりました。自分では気付かないようなことに気付くことができ、今回学んだことを活かしていければと思います。「おかしい」と思ったことを声に出していい、1人じゃ言いにくいことも組合の力を借りて声を挙げて良い、と気付かされました。

第5回 臨時・非常勤教職員等全国交流集会

11月23日（火）に、第5回臨時・非常勤教職員等全国交流集会がオンラインで開催されました。大分高教組からは、深藏剛さん（安心院分会）と、仁木書記次長が参加しました。

まず、日教組特別中央執行委員で、第26回参議院議員選挙日政連予定候補者の古賀ちかげさんが「臨時・非常勤教職員等のこれまでの実態と今後の課題」と題して、福岡県教組臨採部の立ち上げや、教職員を取り巻く課題について講演を行いました。

兵庫県教組と鳥取高教組から単組報告後、全体意見交換がありました。全国の各単組から、臨時非常勤教職員の实態等、さまざまな意見があげられました。

大分高教組は、最近臨時・非常勤教職員の加入が増えています。これからも、待遇改善にむけてとりくんでいきます。

参加者の感想 オンラインで参加しました。参加して感じたことは、教育現場で拡大する「非正規」という働き方に対する不安や、やり場のない怒りは確かに存在する、という事でした。年度ごとの採用数や教科の偏りによる職員構成のバランスの悪さと人手不足感、理不尽な年齢制限、女性の妊娠や出産、育児にまつわる悩み、無感情な区別が生む自覚のない差別、職員室内での正規と非正規の分断、非正規の中での臨時、非常勤、再任用の温度差、賃金モデルの地域格差、話を聞けば聞くほど、「おかしい事にはおかしいと声を上げる大切さ」を感じました。会計年度任用職員制度の問題点は今後、様々な場面で噴出してくると思います。「愚痴を運動に」という言葉が印象に残りました。

安心院分会 深藏 剛

第26回 参議院議員選挙・日政連予定候補者

プロフィール

- 1966年 福岡県久留米市生まれ、高校卒業まで久留米で育つ
- 1989年 熊本大学教育学部音楽科を卒業し、福岡県内の小中学校で教職に就く
- 2003年 福岡県教職員組合講師連絡会メンバー・結成準備世話人として臨時採用教職員の組合結成にむけてりくむ
- 2005年 福岡県教職員組合臨時採用教職員部が発足
- 2009年 福岡県教職員組合臨時採用教職員部部長
- 2012年 福岡県教職員組合朝倉支部執行委員
- 2018年 日本教職員組合専門委員
- 2020年 日本教職員組合特別中央執行委員

古賀 こが
ちかげ
子ども 暮らし 平和



教育現場の声を国会へ届けるため、頑張ります。